

森づくり最前線

福島森林管理署玉ノ井森林事務所
主事 武藤暢光



玉ノ井森林事務所は、福島県の中通り地方のほぼ中央、大玉村に位置し、日本百名山で有名な安達太良山（標高1,700m）の東側、二本松市と大玉村にかかる約5千haの国有林を管理しています。

「あれが阿多多羅山、あの光るのが阿武隈川・・・」と高村光太郎の詩に詠われている安達太良連峰は、那須火山帯に属し、北から鬼面山、箕輪山、鉄山、和尚山など約9キロにわたって南北に連なっている複合火山です。

また、安達太良山は日本に111ある活火山の一つで、そのうち気象庁による常時観測火山に指定された50の山の一つです。このため、多量の温泉が湧出し、北には野地、新野地、鷲倉、西には沼尻、中の沢、横向、東には奥岳、岳、塩沢などの温泉地を形成します。

本年の安達太良山山開きは、5月16日に執り行われました。山開きの行事は、例年、山頂で行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、安達太良高原スキー場ランデブー内で、関係機関・団体の限られた人数で執り行われました。

山開きの安全祈願が終了した後、管内巡視のため安達太良山山頂を目指しました。道中は残雪の中、進む場面もありましたが、無事に山頂へ到着。例年であれば、大勢の登山者がいるはずの山頂付近は人がまばらで、山頂は霧に包まれていたため安達太良山の国有林を一望することはできませんでした。貸付地が適正に管理されていることを確認し、管内巡視は終了しました。

本年4月に異動してきて、初めての安達太良山の巡視でしたが、来年は環境省裏磐梯自然保護官事務所と合同で巡視を行う予定です。

また、近年、不法投棄が社会問題となる中、当森林事務所管内の国有林野においても、不法投棄が散見されるようになってきました。

今回、通報があった不法投棄は、入山者からのものであり、直ちに現地を確認するとともに大玉村役場と郡山北警察署に今後の対応について相談しましたが、不法投棄者を探し出すことはできませんでした。不法投棄物の撤去は大玉村役場の協力のもと実施し、不法投棄の対応策として、のぼり旗と看板を設置しました。不法投棄されたごみは、その処理に多額の費用がかかるだけでなく、景観、森林生態系を大きく損ねます。今後も関係機関と協力しながら、情報共有・不法投棄対策等を行っていききたいと思います。

福島県内におけるナラ枯れ被害は急速な拡大に傾向にあります。関係市町村・林業団体等との被害状況の情報共有、迅速な防除体制の確立を図るため、10月に外部講師を招き、「ナラ枯れ被害対策検討会」を当事務所管内で実施します。ナラ枯れに対する知識や防除対策を習得し、被害防止に努めたいと思います。



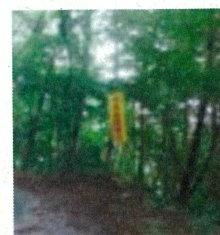
管内巡視 安達太良山山頂付近



安達太良山山開きの風景



不法投棄監視中の
看板設置



不法投棄禁止の
のぼり旗設置

発行所 関東森林管理局
編集 総務課

TEL (027)210-1158

FAX (027)230-1393